



# 院長通信



2025年10月 Vol.2

## トップダウンとボトムアップ

病院・会社などの組織での意思決定には大きく「トップダウン」と「ボトムアップ」の二つの流儀があります。トップダウン型では、管理者（理事長・院長・社長など）が決定し、各部署に指令がいき、さらに各職員がそれに従って動きます。一方、「ボトムアップ」型では、各職員（現場）が意見を出し、各部署から管理者に「上申」や「提案」がなされ、



それが業務遂行に反映されることとなります。どちらも一長一短があり、トップダウン型では、迅速な意思決定ができる反面、現場の意見が反映されにくく、時に現場の状況に合わない指令になることがあります。一方、ボトムアップ型では、現場の意見が反映されやすい利点がありますが、決定に時間がかかったり、時に部署間で意見が合わず指示がまとまらないような事態が起こることがあります。

さて、当院の意思決定はどちらでしょうか。トップダウンでの指示が多く、現場からの意見があまり反映されていないように感じているのは私だけでしょうか。多少の不便や不合理を感じても、命令どおり（従前どおり）やっているほうが楽なので、それでいいやと仕事を進めていませんか。患者さんや御家族からの要望や意見を聞いても「病院の決まりなので」ということで、聞き流していることはありませんか。私は院長として、「サービスの向上」と「働きやすい職場づくり」のため、ボトムアップ型の意思決定を増やしていければと考えています。

院長 福田 互